

マイクロ波試料前処理装置 仕様書

納入機種については、以下の仕様（基準）をすべて満たすものとする。

（１）一般的事項

本仕様書は福井県立大学生物資源学部が購入するマイクロ波試料前処理装置一式の納入に関し必要な事項を定める。

なお、本仕様書に明記されていない事項についても、当然備えるべき性能・機能・技術等については完備し、正常に動作するものとする。

本調達には物品の輸送費のほか設置・据付に要する経費、試運転その他機器調整に要する経費を含むものとする。

（２）基本条件

本装置はマイクロ波を利用して試料を分解する装置である。特に難分解性の試料に対して、正確かつ精度よく分解でき、試料前処理が行えることが必要である。

（３）構成

基本構成物品	1. マイクロ波試料前処理装置 (60 Hz) 本体	1 式
	2. トランスフォーマー (200 V → 230 V)	1 式
	3. ローター (5 mL 容量, 64 本架け)	1 式
	4. マグネットスターラーデバイス	1 式

（４）備えるべき仕様

- ・マイクロ波の制御が出力範囲全体でアンパルスモードであること。
- ・本体は試料の前処理のほか、マイクロ波を用いたパラレル合成および大量合成にも対応可能であること。
- ・本体は多様なローターを使用することができること。
- ・本体は寸法 600 x 720 x 760 mm (幅 x 奥行 x 高さ) 以下であること。
- ・本体のチャンバー容積は 66 L 以上であること。
- ・本体の使用時に発生する空気伝搬騒音は 70 dB(A) 以下であること。
- ・マイクロ波の出力は 1700 W 以上であること。
- ・外部温度センサーを底面に取付可能であること。
- ・マグネトロン周波数は 2.455 GHz であること。
- ・ローターは 5 mL 容器を最大 64 本以上利用可能であること。
- ・磁気攪拌装置を内蔵すること。

- ・外部冷却ユニットとの接続が不要であること。
- ・外部検査機関による ETL と GS（安全基準）の認定を取得した製品であること。

（５）納入に関する付帯作業について

福井県立大学生物資源学部棟 1F N112 精密機器室 I への搬入、設置を行うこと。

（６）機種選定条件

- ・操作性、保守性および信頼性に十分配慮されていること。
- ・発注仕様書の記載事項は全て、必須事項とする。
- ・落札決定に当たっては、上記の性能を上回る機器・付属品の構成で入札しても差し支えない。

（７）電気的特性

本システムを設置する部屋には、必要な電源が供給されているものとし、以下の電気的条件のもとで機能が正常に動作しなければならない。

AC 電源電圧	単相 200 V (±10%)
AC 電源周波数	60 Hz

（８）留意事項

本仕様に記載していない事項であっても、本仕様書を満たす最適な構成で入札するものとする。

（９）保守サービス体制について

- ・本仕様書に関する機器について、迅速なサービス提供が可能なこと。
- ・機能や取扱方法について、電話、FAX、e-mail で問合せが可能なこと。

（１０）保守の範囲について

- ・本装置の無償保証期間は、検収後 1 ヶ年とする。
- ・保守サービスの対象は、納入した機器に限るものとし、その範囲は調整を含む障害部品交換とする。
- ・納入者は、ここに定める保守および障害復旧作業を行った時は、速やかに書面により発注者に報告するものとする。

（１１）保守の例外

以下の各号に定める事項が起こった場合は保守の範囲に含まれないものとする。

- ・天災、地変、その他納入者の責に帰すことのできない事由により生じた故障の修理。
- ・発注者の不適切な機器の使用、または取扱による故障の修理。